

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第6時(9時間取り扱い)

どんな三角形も同じ考え方で
求積できることがわかる！

本時の授業の概要

前時において学習した三角形の面積の求め方をもとに、高さが三角形の外側にくる場合にも、三角形の面積を求める公式が適用できることを考える。高さが三角形の外側にくる場合の底辺と高さの関係を把握することは難しいため、ていねいに取り扱い、底辺と高さの関係の理解が深まることをめざす。

本時の目標

高さが三角形の外側にくる場合にも、三角形の面積を求める公式が適用できることを理解する。

活用場面

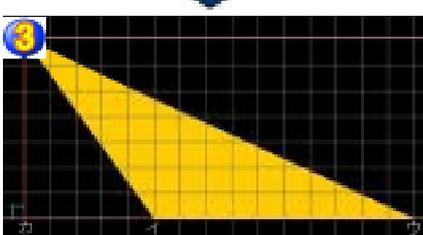
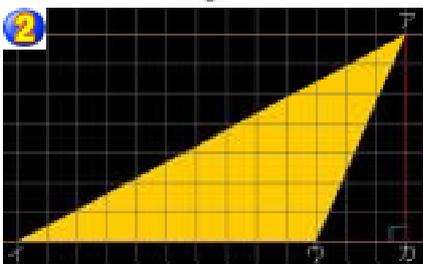
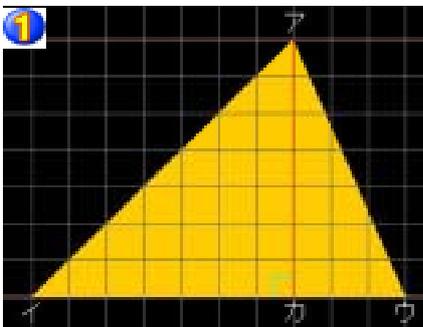
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



高さが三角形の外側にある場合の面積の求め方を確認する。

② T : 高さが三角形の外側にあるものも三角形の面積の公式を使うことができました。どんな公式でしたか。

C : 底辺 × 高さ ÷ 2

T : 頂点アはどこにあって公式をつかって面積を求めることができるのでしょうか。

頂点アを動かし、どんな三角形でも公式を使って面積を求められることに気づく。

③ T : 頂点アをぐーんと動かしてできた三角形でも、三角形の面積の公式は使えるのですか。

C : 頂点アが動くと、とってもちがう三角形に見える。

C : どんな三角形も、2つ合わせると平行四辺形になるのだから、公式が使える。

C : 他の方法でも、公式が使えると言える。

T : 三角形の公式はどんな三角形でも使えますね。

【ワンポイントアドバイス】

頂点アを自由に動かすことにより、どんな三角形でも公式を使って求めることができることをおさせる。あわせて底辺と高さの位置関係の定着も図りたい。

高さが変わらなければ、頂点アがどこにあって三角形の面積が変わらないことにも気づかせたい。

【サイト情報】

<http://www3.plala.or.jp/yat/santousekihenkei/santousekihenkei.htm>

(Javaで算数・数学)